

報道関係者 各位

2026.3.27
< 配信枚数 2 枚 >

■ 開催案内 ■

2026 年 4 月テーマ

「右派ポピュリズムと国際社会」

開催日程 : 2026 年 4 月 4 日 (土)・25 日 (土) 10 時 00 分～11 時 30 分

開催方法 : ハイブリッド講座 (末川記念会館・Zoom ウェビナー)

2026 年 4 月の立命館土曜講座は、立命館大学国際地域研究所の企画として「右派ポピュリズムと国際社会」をテーマに、ハイブリッド形式 (末川記念会館・Zoom ウェビナー) で開講いたします。どなたでも無料で受講いただけますので、ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

記

■ 立命館土曜講座 4 月テーマ 「右派ポピュリズムと国際社会」

(1) アメリカ崩壊～米国人ファーストの果て

日時 : 2026 年 4 月 4 日 (土) 10 時 00 分～11 時 30 分

講師 : 毎日新聞社 記者 國枝 すみれ

(2) 「プラットフォームとポピュリズム」と政治の変化について

日時 : 2026 年 4 月 25 日 (土) 10 時 00 分～11 時 30 分

講師 : 立命館大学国際関係学部 准教授 NATHANIEL M.SMITH

開催方法 : ハイブリッド講座 (末川記念会館・Zoom ウェビナー)

内 容 : 別紙参照

聴 講 料 : 無料

定 員 : 末川記念会館 180 人、Zoom ウェビナー 400 人

※実施前日 12 時 00 分までに要事前申込。定員に達し次第、受付を終了。

申込方法 : 立命館土曜講座の WEB サイトよりお申し込みください。

<https://www.ritsumeai.ac.jp/doyo/>

主 催 : 立命館大学衣笠総合研究機構

そ の 他 : 文字通訳を配信しています。

以上

本リリースの配布先: 京都大学記者クラブ

● 内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠総合研究機構 担当: 尾崎・堀

TEL.075-465-8224

別紙

■立命館土曜講座 4月テーマ「右派ポピュリズムと国際社会」

(1)アメリカ崩壊～米国人ファーストの果て

日時：2026年4月4日(土) 10時00分～11時30分

講師：毎日新聞社 記者 國枝 すみれ

講師による内容紹介：

米国はなぜここまで劣化したのか？米国の民主主義を壊している要因は何か？答えを求めて、大統領選の5カ月前の24年6月に渡米した。それから1年間、住所不定のノマド記者として滞在した。

トランプ氏の選挙は16年から取材しているが、24年は情報戦だった。陣営は「ハイチ移民が犬や猫を食べている」「ベネズエラ人のギャングがアパートを占拠している」といった偽情報や誇張された言説を拡散し、反移民感情に訴えた。移民の大量流入に対する不安や反発、それに伴う米国人ファーストの世論の高まりをうまく利用した。

トランプ支持者は20年大統領選で不正があったと信じ、21年1月6日の連邦議会議事堂襲撃は「平和的な抗議運動だった」と主張している。議会襲撃に関与して訴追・有罪となった者が恩赦され、ゆがんだナラティブが勢いを増している。

米国人は事実を事実として確定する能力を失いつつある。オールドメディアの衰退、ニュース源の分断化、IT企業と政治の癒着、コロナ禍で拡大した政府や専門家への不信といった状況が変化しなければ、政権が変わっても、情報操作に脆弱なままだろう。米国はどうなるのか。内戦の可能性はあるのか。崩壊を止める方法はあるのか。それを考えたい。

(2)「プラットフォームとポピュリズム」と政治の変化について

日時：2026年4月25日(土) 10時00分～11時30分

講師：立命館大学国際関係学部 准教授 NATHANIEL M.SMITH

講師による内容紹介：

世界的な右派台頭の波は日本にも押し寄せており、参政党のような SNS を駆使した新興勢力が、「曖昧な共感」を武器に支持を広げている。既存の右派活動とどのように異なり、日本の右傾化は欧米における移民や階級対立とどのように比較できるのか。新ポピュリズムは、「想像上の分断」と「想像上のつながり」によって駆動されており、日本の場合、自民党の求心力低下が生んだ空白を埋める形で新たな保守勢力が台頭してきている。また、社会の分断と同時に、共通の土台としての「プラットフォーム」が、デジタル世界とオフライン世界を新たに結びつける力を持ちつつある。「反グローバル」というスローガンは、グローバル世界との断絶を求めるものではなく、さまざまな変化に残された人々の不満と戸惑いの表れである。現代社会の複雑な現実といかに向き合い、我々は「プラットフォームを通してつながり直せるか」を問いかけながら、プラットフォーム・ポピュリズムの時代を考察していく。

■立命館土曜講座 <WEB サイト> <https://www.ritsumeai.ac.jp/doyo/>

1946年から続く、市民向けの無料公開講座。故・末川博名誉総長の「学問や科学は国民大衆の利益や人権を守るためにある。学問を通して人間をつくるのが大学であり、大衆とともに歩く、大衆とともに考える、大衆とともに学ぶことが重要」との思いのもとに、大学の講義を市民に広く開放し、大学と地域社会との結びつきを強めることを目指しています。